

国際ロータリー第2620地区 米山学友会

会報 Vol.15 号(2023-24 年度)

創立 15 周年記念特集号



撮影: ファム ゴック アン会員

2024 年 6 月発行

目次

(敬称略)

- 1、会長期間3年を振り返って(挨拶).....米山学友会長 青山 チャリット
 - 2、世界に希望を生み出そう——ロータリーファミリーとともに..... 地区ガバナー 中村 皇積
 - 3、学友会のこれからの期待して.....地区米山記念奨学委員会アドバイザー 松村 友吉
 - 4、ヨネヤマの正体.....地区米山記念奨学委員長 渡辺 郁
 - 5、ベトナムの子どもたちへの支援活動に参加して.....米山学友 ファム ゴック アン
.....米山学友 レー チュオン ロク
.....米山学友 孫 麗
.....米山学友 上野 佳子
.....米山学友 篠原 暁恵
 - 6、2023-24年度 理事役員メンバーリスト
 - 7、2023-24年度 活動記録(写真)
 - 8、米山奨学生ひろば ～期間終了に想うこと～
 - 9、2023-24年度 期間終了の米山奨学生一覧
 - 10、2024-25年度 新規・継続・クラブ支援の米山奨学生一覧
 - 11、2024-25年度 主な行事予定
 - 12、編集後記
- 表紙写真撮影：ファム ゴック アン会員(ベトナム、2020-22年/浜松南 RC)

1. 会長期間3年を振り返って

米山学友会長

青山 チャリット (スリランカ、2006-08/静岡日本平 RC)



日頃より、米山学友会の活動に関しまして、ご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、今年で2620地区米山学友会を設立してから15年目に突入します。当学友会の創立メンバーとして、また、学友会の会長として『会報第15号』をお届けできたことを大変嬉しく思います。

今年度は、会長として3期目となり、多くのロータリアンと学友会メンバーの支えもあって無事に3年間の会長期間を終えることができました。会長として私が最も重視してきたのは、学友として最も大切なことである米山奨学生とロータリアンとの交流は勿論、地域奉仕活動と国際教育支援でした。会長1期目の時に新型コロナウイルスによる世界的パンデミックが広がり、自由に活動ができない1年になりました。コロナ禍だから活動を自粛するのではなく、コロナ禍でも活動を続けたいという一心で考えていた時に頭に浮かんできたのは三保松原の海岸清掃活動でした。会長1期目から企画したこの三保松原での清掃活動を3期連続で実施できたのは大きな成果となりました。今年度は海岸清掃後に企画した多国籍料理パーティーも大好評でした。上記のような学友会独自の地域奉仕活動以外にも、沼津柿田川RC主催の柿田川清掃活動にも毎年参加することで、他地区の奨学生やロータリアンとの交流も深めることができました。

国際教育活動として、私が理事役員の時から続けているスリランカの子供たちへの教育支援は会長期間中にも実施することができました。スリランカの政治情勢が不安定な状況下での活動で、困難なことも多数ありましたが、有意義な良い思い出として残っています。会長期間3期目のとき、スリランカ以外にも教育支援を広げたいという思いが強く、当学友会のアン理事とロク理事の力を借り、昨年12月にベトナムへの支援も実現することができました。これで当学友会の国際教育支援

がスリランカ、モンゴル、ベトナムと3ヶ国に広がりました。すでにネパールやミャンマーにも支援して欲しいと学友メンバーから声が上がっており、今後はそれらの国々にも支援が広がることを期待しています。

会長期間の3年間は、新型コロナの影響で自由に活動ができない期間もあったものの、学友会としてあるべき姿をめざすため様々なイベントを企画することができた3年間でありました。これらの企画は私一人では実現不可能で、多くの学友やロータリアンの協力があったからこそ実現できています。その中でも上野理事の存在は一番大きく、私が新しいイベントを提案する度に予算案を含め必要な段取りを速やかに進めくれていたので、多くのイベントは彼女のサポートがあったから円滑に実現できたと認識しています。ロータリアンでは米山記念奨学委員会の渡辺郁委員長と学友委員会の柳場文彦委員長の存在は大きく、お2人の協力もあって、学友会イベントはスムーズに進めることができました。

本年度は2620地区米山学友会が創立して15周年となり、次年度からは若手で積極性がある新会長の元で新体制の1年となります。次年度は会長として3年間の経験を活かして、新体制へのサポートを精一杯努めて参ります。

最後に、中村皇積ガバナーをはじめ、松村友吉様、渡辺郁様にはご多忙の中、ご寄稿を頂きまして厚く御礼申し上げます。



どうする家康 浜松 大河ドラマ館にて

2.世界に希望を生み出そう～ロータリーファミリーとともに



地区ガバナー

中村 皇積 (浜松ハーモニーロータリークラブ)

当地区米山学友会が創立15周年の大きな節目を迎えられましたことに国際ロータリーの役員として心よりお慶びを申し上げます。

戦後、これからの日本が生きる道は平和しかないとの思いから始まったロータリー米山記念奨学は、創設から70年を数え、これまでに23,000人の親善大使を誕生させてまいりました。

当地区においても、蒔かれたその種は芽となり木となり、大きな果実を生み出しております。

学友の皆さまにおかれましては、私たちとともに地域の活動に参加され、また、国内外で独自に意義ある活動をも展開されておりますことに心より感謝を申し上げます。世界でよいことをしたい、恩返しをしたいという善意のみならず、この活動とそれぞれの体験、ストーリーを通じて人として成長したいという、ロータリー精神の現れだと確信しております。米山奨学事業そして学友に想いを寄せてこられた先人たちの嬉しそうな顔が目浮かびます。

私が米山学友という存在に初めて触れたのは20数年前、入会間もない頃だったと思います。当クラブに学友が卓話にお越しくださり、その方は医大で教鞭を執られるほどに立身されておりました。奨学当時の写真を手に「もう天に召されましたが、本当の父親のように接してくれたカウンセラー、この方が居なかったら今の私はありません。」と嘯み締めるように語ってくださいました。その写真は色こそ褪せておりましたが、ロータリーは凄い事業をしているのだなと感じたのを鮮明に覚えております。

その私も50を過ぎ、学友の皆さま、とりわけ若い方ともお会いする機会が増えた今日、気づくことがあります。それは、日々の生活など身を置く環境は違えども、話をしているまったく違和感がないということです。奨学時代と学友会を通じて涵養されるロータリー精神とストーリーは皆さまの中で大きな根をおろしているからです。

私たちは、世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。人は誰しも、心穏やかに社会と自らの成長を享受したいものです。共に生き、共に希望を生み出す共生社会を実現すべく、ロータリー米山記念奨学事業と学友会の益々のご発展を心より祈念申し上げます。



2023年7月学友会総会にて

3. 学友会のこれからの期待して



地区米山記念奨学委員会アドバイザー

松村 友吉（焼津ロータリークラブ）

創立 15 周年を迎え、ますます活性化されつつある学友会に対し、心からお祝いとお礼を申し上げます。日本の経済が停滞していた過去 30 年間においても、これだけの留学生が日本で学び巣立っていきました。これから日本の経済が再度成長軌道に乗り、インバウンドの観光客の増加や留学生の増加が予想される中で、私達ロータリークラブの「米山記念奨学事業」の存在意義は、ますます高まっています。それと同時に、その卒業生でつくられる米山学友会は、既に国際親善・国際平和に大きく貢献していますが、その役割はさらに重要になってきます。皆様のご活躍に、大いに期待いたします。

最近仕事で海外に出向くことが増えました。主にアジアの国々ですが、モンゴルとインドネシアで体験したことをお話しします。どちらも静岡県主催の高度人材採用活動に同行した折です。モンゴルでは、県の職員の皆さんと「日馬富士高校」を訪れました。「日馬富士」は勿論相撲の横綱の名前で、本人が日本で稼いだお金で作ったのが「日馬富士高校」です。モンゴルの子供たちに日本流の礼儀作法と技能を教える、大変崇高な理念を掲げた立派な学校です。日馬富士からその高校の運営を任せられ、実際に経営を成り立たせている方が、実は米山学友でした。お名前は失念して申し訳ありませんが、確か山形大学を卒業した方で、モンゴルの米山学友会の重鎮でいらっしゃる方です。大変感

銘を受けて帰ってきました。

次はインドネシアです。私の会社でもインドネシアで高度人材を採用することにし、人事担当者と採用面接に臨みました。その折、中枢で我々団体の通訳をしていただいた女性が、やはり米山学友でした。彼女は横浜の大学に留学して奨学生になり、そこで日本語を学んだようです。現在通訳として活躍されると同時に、自ら起業しいくつかの会社の社長もされていてジャカルタの経済に寄与されている、ともお聞きしました。

このように、たまたま行った海外で、偶然にもお会いした米山学友の活躍ぶりを見て、米山記念奨学事業の素晴らしさを改めて実感しています。まだまだ時間はかかるかもしれませんが、世界中にいる学友の皆さんが、国家を超えて人と人の結びつきを強め、世界の平和安定に寄与していかれることを、心から期待したいと思います。世界の国々の分断は拡大しつつあります。この流れはどこかで止めなければなりません。そのためには、やはり個人個人人間同士の心のつながりが国家間の溝を埋めていくことが必要です。これからもロータリークラブの果たすべき役割は大きいです。

そして私自身は、まずは足元の我が地区の学友会の維持発展に、微力ながら関わっていきたいと思います。改めて、米山学友会のこれからの期待いたします。



4. ヨネヤマの正体



地区米山記念奨学委員長

渡辺 郁（甲府南ロータリークラブ）

第2620地区米山学友会創立15周年おめでとうございます。私はロータリーに入会してから7年、これまで地区の米山記念奨学委員会の委員として活動して参りました。最初はみんなが「ヨネヤマ」と呼ぶものの正体がかめず、ましてや委員として何をすべきなのかわからないことに不安すら感じないほどでした。

ロータリークラブの地区の会議と聞いて参加すると、幅広い年齢層の外国籍の方達が参加されていました。初めての参加で緊張している私に満面の笑みで挨拶をしてくれます。

「彼らは一体何者なのだろう…」と口に出せないまま、活動は回数を重ねていきました。すると、回数を重ねるごとに彼らの人柄に惹かれるようになりました。どうやら彼らは、元米山奨学生の集まりで「米山学友会」のメンバーなのだ気づいた頃には彼らと会うのが楽しみになっていました。胴長靴を履いて冷たい水に浸かって汗を流した柿田川湧水での奉仕活動や、その後の懇親会が楽しみな三保の松原の清掃活動、徹夜で車を走らせて訪れた被災地に植樹した桜、世界中から集まった学友たちと歌って踊って友情を深めたつくばでの米山世界大会再会in関東、毎年地区大会前日に行われる米山ナイトで声を枯らしたこと、そして地区大会への参加、募金活動など、彼らとの活動を通じて、さまざまな出会いとドラマが生まれました。

また、第2620地区の米山学友会の中枢を担う人たちも私にはとても魅力的に映りました。青山チャリット会長は常に率先して行動されています。誰よりも早く、誰よりも重い仕事を、最後まで黙々と取り組む姿勢に何度も感嘆しました。上野理事は卓越した行動力と類い稀なる事務処理能力を持ち、2620地区の活動を日本国内33学友会の中でも有数の組織力と活発さを誇るレベルに引き上げました。篠原パスト会長はすべての参加者に対して常に優しく、そして私財を投じて米山学友会の活動を特別なものとしてくれました。李重楼副会長は、コロナ禍での奨学生時代を取り戻すかのように、次年度からの学友会会長として眩しいほどに精力的に活動し

ています。他にも、忙しい仕事を抱えながらもいつも元気に活動に積極的に参加する李洪理事、常に礼儀正しく穏やかで人の役に立とうと行動する孫麗理事、学友会に入会したばかりでありながら、母国ベトナムへの支援活動を率いるファムゴックアン理事など、数えきれないほどの素晴らしい学友たち、そしてこれから学友会を担ってくれるであろう奨学生たちと出会いました。

これほど多くの素晴らしい学友たちが2620地区の活動を支え、その名を他の地区にまで轟かせています。地方都市では、奨学生が都会での就職を選ぶことが多く、地元地域に残って活動するメンバーが少ないのが現状です。それでも、結婚や転職を機に他県から第2620地区のある静岡・山梨県に転入してくる方たちもいます。彼らも米山事業に対する感謝の気持ちと、共に過ごした経験から、すぐに打ち解けて活動に参加してくれます。全国の米山学友会メンバーにロータリーの父米山梅吉翁の意志と先人の想いが行き渡っていることを実感します。

このような米山記念奨学事業の素晴らしさに触れるたび、先輩ロータリアンたちの平和、そして世界理解・親善への意志と、それに賛同する多くの方々これまでの努力に感謝の念を覚えます。私たちの活動は、今後も国際的な友好と相互理解を深めるための架け橋となることを信じています。ロータリーに入会し、米山学友会の皆さん、そしてこれまでに会った奨学生との出会いと、共に過ごした時間と経験は紛れもなく私の一生の財産です。

15周年を迎えた2620地区の米山学友会の皆様のご努力に深く感謝し、今後も皆様と共に活動を続け、さらに輝かしい未来を築いていきたいと思えます。



2023年8月「再会in関東」にて（左）

5. ベトナムの子どもたちへの支援活動に参加して

日本とベトナムの架け橋への一歩

ファム ゴック アン/理事
(ベトナム 2020-22/浜松南 RC)

私は周囲のロータリアンから「いつかあなたが日本とベトナムの架け橋になってほしい」と言われていました。そして4年目にして、ついにその夢を実現する機会が訪れました。ある日、青山学友会会長から、「恒例の海外支援活動を今年はベトナムで行おうと思うのだが、どうだろうか?」と声をかけられました。私は喜んで受け入れ、すぐに企画を進めました。

始めて見ると、実際にはそう簡単ではありませんでした。実施場所の調査や選定、連絡のやり取り、寄付内容の決定や準備など、多くの段階を経て計画を進める必要がありました。

以前は参加者の立場だったため、計画がこんなにも大変なことを初めて実感しました。最初はベトナムのRCと協力を考え、現地の3つのクラブに連絡を試みましたが、返信がなかったり、予定が合わなかったりで断られました。独自で計画を進めることにしましたが、海外から現地の組織に連絡するのは障害が多く、時間がかかりました。



左から青山、篠原、孫、上野、アンの皆さん。ダナン空港にて

しかし、青山会長や学友のメンバーから貴重なアドバイスと励ましをくれました。在ベトナムの米山学友会にも日本とベトナムをつなぐ手助けをしてもらいました。

皆様の協力もあり、何とか計画通りにイベントを開催することができ、学友のメンバーと現地を訪れることができました。子供たちが笑顔で「ありがとう」と言ってくれた瞬間、今までの苦勞が報われたように感じました。

今回は学友の皆さんと力を合わせて、素晴らしい企画が実現しました。まだまだ日本とベトナムの架け橋になる道は遠いと思いますが、微力ながら貢献し続けたいと思います。

より多くの笑顔と希望を生むために

レー チュオン ロク/理事
(ベトナム 2020-22/甲府南 RC)

今年度、所属の米山学友会が初めてベトナムへの支援活動を企画し、その経験は、多くの感動と学びを与えてくれました。最初はどこから手を付ければ良いのか、戸惑いと不安がありました。しかし、自分なりに探求し、そして青山会長からのアドバイスを受けて、進める方向性を見出すことができました。その後、ベトナム南部学友会のサポートを得ることができ、その助けによって支援先の選定や寄贈品の手配などがスムーズに進められました。

Nguyen Binh Khiem 中学校やダナン市内の路上子ども保護施設への支援が実現し、その成果は素晴らしいものでした。現地に行けなかったとしても、他のメンバーからの報告を通じて、子供たちの笑顔や彼らの頑張っている様子を知ることができました。彼らは日々の困難を乗り越え、将来のために努力している姿勢には、心から敬意を表します。彼らの精神力とポジティブさは、私たちにとって大きなエネルギー源となりました。

この経験を通じて、私たちは支援活動の重要性や、人々が困難に立ち向かう姿勢を再確認しました。そして、今後もこのような活動を通じて、社会に貢献し、エネルギーや希望を広げていきたいと思っています。

この活動を実現する上で協力してくれたベトナム南学友会の皆さんに心から感謝します。また支

援や寄付を頂いたロータリアン、学友の仲間、そして奨学生の皆さんにも深い感謝をいたします。これからも、より多くの人々の笑顔と希望を生み出すために、私たちは活動していきたいと思ひます。



左からヒエウ、クイン、リン、タオ、アン、ルオン、ロクの皆さん。
地区大会での募金活動、アクトシティ浜松にて

支援活動で学んだこと

孫麗/理事

(中国 2012-14/大阪なにわ RC)

2023年12月、米山学友会のメンバーと共にベトナムのダナンで支援活動を行いました。ダナンは、活気にあふれ、素直でフレンドリーな若者が多い街だという印象を受けました。

今回の支援活動では、ベトナム南学友会理事のリーバオクォクさんの協力のもと、ホイアンの中学校とダナン路上子供保護センターを訪問しました。そこで、食料や衣料品などの物資を提供したほか、健康保険証の贈呈も行いました。この活動を通じて、私はたくさんの新しい経験をする事ができました。

訪問した際、子供たちは困難な状況にもかかわらず、温かく私たちを迎え入れてくれました。彼らの笑顔と優しさは、私たちの心を暖かくしました。ダナン路上子供保護センターの子供たちは、学ぶことに対する情熱を見せてくれました。ある女の子は日本語を勉強しており、日本語の歌を歌ってくれました。彼女の将来の夢は日本へ留学することだと聞き、彼女の夢が実現するよう心から願っています。子供たちと過ごした時間は、私たちにとっても非常に楽しいものでした。

今回の活動を通じて、私は、物質的な豊かさだけが幸せの基準ではないことを再認識しました。保護センターの人々は、シンプルな生活の中でお互

いに助け合い、支え合って生きています。彼らの絆の強さは、私たちにとって大きな教訓となりました。さまざまな事情を抱えた子供たちの笑顔に救われる思いでした。恵まれない地域での支援活動と地域貢献の必要性を、改めて実感しました。世界中の子供たちが笑顔で暮らせる社会が実現することを切に願っています。

最後に、寄付をしてくださった方々、募金活動に協力してくださった方々に心から感謝いたします。ベトナムで出会った人々との絆を大切に、今後も継続的な支援を続けていく決意です。



ダナン路上子供保護センターにて

継続を“力”に

上野 佳子/理事

(中国 2000-02/東京臨海東 RC)

今回のベトナムへの奉仕活動は意義深いものでした。当学友会では2017年度、スリランカの子どもたちへの学習支援を皮切りに、これまで5回の支援活動を実施。スリランカ、モンゴル、ベトナムと現地の贈呈式に立ち会いましたが、文房具や教科書、絵本、生活必需品などを手にした子どもたちのキラキラした目と笑顔を見るたびに、やり甲斐を実感し、嬉しさが増しました。

米山梅吉翁の高い志は、多くのロータリアンに受け継がれ、そして私たちはその奉仕の精神を学びました。その学びは今、私たちの仕事や社会活動の礎となって支えてくれています。

ロータリーの恩恵を受けた米山奨学生は23年7月現在、世界131の国と地域、累計2万3500人余。これだけのパワーがあれば、やがて世界平和や貧困の是正にも大きな貢献ができることでしょう。

これからも、子どもたちへの教育支援を続けることを心に誓います。笑顔の子どもたちがやがて日本への留学をめざし、いずれ国際奉仕活動の担い手として活躍してくれることを夢みて…。

感謝を込めて

篠原 暁恵/パスト会長
(台湾 1985-87/船橋西 RC)

この度、モンゴルとスリランカに続いて、今年は、ベトナム支援プロジェクト活動は、アン学友やロク学友が母国の為に企画し、学友全員一致で力を合わせて、募金活動を行いました。

毎回、海外活動を通して、自分自身の幸せを噛みしめています。この3年間のコロナ感染拡大中で、世間の活動が全て停止し、特に外出禁止期間中、様々な理由で子ども会やサークルなどの組織団体が減りました。そして、今まで、当たり前の生活から、マスク着用や手指の消毒や人との距離感も保ちながらの活動をしていました。

しかし、私は、米山奨学金のおかげで、現在の幸せな生活があり、ロータリーの精神に触れ、常に学友の皆さんに「自分を通して、できる範囲で母国に貢献できる活動」をお願いしています。この願いに賛同し、協力する学友のおかげで、今までの海外活動をスムーズに成功することができました。同じ

志を持ち仲間たちと共に学友会の活動ができるのは、とても幸せです。感謝！感謝！

今回もベトナムプロジェクトを通して、現地の格差を身に感じて、先生たちの献身的な指導と生徒たちの努力する姿を見て、本学友会の活動を再確認して、これからも微力ながら、学友会活動のお手伝いを続けたいと思っています。

この誌面を借りて、米山奨学金に寄付して頂いた方々及びプロジェクト活動にご支援して頂いた方々にも、感謝申し上げます。これからも、学友会の活動に、ご指導のほど宜しくお願いします。



ダナンでの贈呈式にて (左)



6. 2023-24 年度 理事会メンバー

役職	氏名 (出身国/世話クラブ)	
会長	青山 チャリット (スリランカ/静岡日本平 RC)	
副会長	李 重楼 (中国/静岡西 RC)	
理事	上野 佳子 (中国/東京臨海東 RC、会計兼)	李 洪 (中国/横浜東 RC)
	レー チュオン ロク (ベトナム/甲府南 RC)	孫 麗 (中国/大阪なにわ RC)
	ファム ゴック アン (ベトナム/浜松南 RC)	
監事	古 益安 (台湾/尼崎南 RC)	
	成田 みちよ (地区米山委員、沼津西 RC) → 柳場 文彦 (地区学友委員長、山梨 RC)	

7. 2023-24 年度 活動記録 (写真)



(1)	(2)	
(3)	(4)	
(5)	(6)	(7)
(8)	(9)	

(1)～(2) 第15期通常総会 in 米山記念館
 (3)～(4) 米山学友世界大会「再会 in 関東」
 (5)～(9) 柿田川湧水公園清掃奉仕活動



(10)	(11)	(12)
(13)	(14)	(15)
(17)	(18)	(19)
(20)	(21)	(22)
	(23)	(24)



(10)～(19) 三保松原清掃奉仕活動&
国際料理パーティー
(20)～(24) 国際奉仕活動 (ベトナム中部)

8. 米山奨学生ひろば ～期間終了に想うこと～

今回は、渡辺郁地区米山委員長のアドバイスを頂き、初めて「奨学生のひろば」を企画しました。期間終了の皆さんに下記6つの項目について任意に回答してもらいました。字数の設定がありましたが、皆さんの気持ちを尊重し、そのまま掲載いたします。

- ① 米山奨学生になったと実感した瞬間は？
- ② あなたの奨学生期間を一言で表すと？
- ③ 世話クラブ・カウンセラーの方に一言を！
- ④ 米山奨学生になって得たものは？
- ⑤ 米山学友会でやってみたいことは？
- ⑥ 5年後の自分に一言！

—崔 準城/韓国/浜松ハーモニーRC

- ① クラブでロータリアンの皆さんと一緒に野球の練習をした時
- ② 一瞬
- ③ 1人でなくて、心から良かったと思います。
- ④ 誰しもが愛されて然るべき人間であること
- ⑤ 人生の勉強
- ⑥ 人を思う分、自分も大切にな。

—グエン ハイ リン/ベトナム/藤枝RC

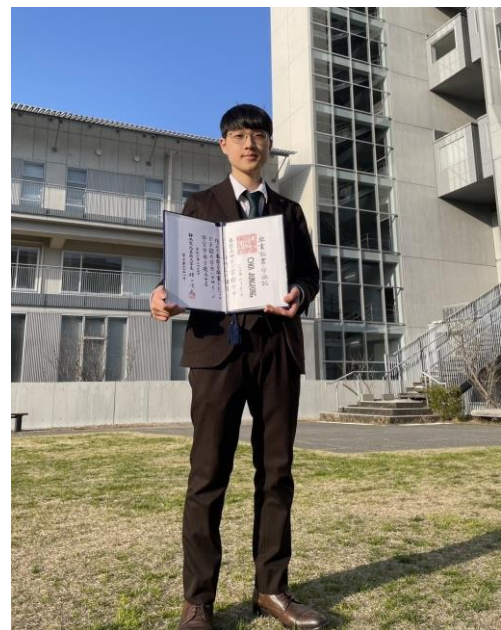
②「在日してから一番輝いている1年間」と言えば、ロータリー米山記念奨学金を授与された私の奨学生期間は、大きな挑戦と成長の年でした。日本に来て7年間、朝5時から老人ホームでの食事補助の仕事をしなが、受験勉強を続け、大学に入学後はパンデミックによる困難にも立ち向かいました。採用の通知を受けた瞬間、幸せな涙が溢れました。カウンセラー制度の恩恵も受け、家族や奨学生仲間との絆を深めました。この一年間は学業だけでなく、個人的な成長やボランティア活動を通じた社会的責任も担い、自己を磨く大切な時期でした。人間関係や友情も充実し、輝かしい思い出がたくさんあります。

③1年間大変お世話になりました。藤枝ロータリークラブは私の心の拠り所です。

④経済的支援だけでなく、心の支えや将来に向けた強力なサポートシステムです。奨学金だけでなく、米山奨学生としての身分がもたらす様々な機会やネットワーク、また米山奨学生としての誇りも得られました。

⑤地域社会への奉仕活動や他の学友との交流イベントの企画・実施です。地域への貢献と共に、米山の絆を深め、より強固なコミュニティを築いていきたいと考えています。

⑥初心忘れるべからず。



—王 非凡/中国/笛吹RC

- ① 初めての地区大会。2022年5月に甲府市で開催された地区大会の前夜祭（米山ナイト）
- ② 転機と感動。
- ③ 進化し続けます。
- ④ 積極的に交流をし、積極的に良いことを尽くせるように。
- ⑤ 交流活動、社会奉仕活動、ボランティア活動に参加すること。
- ⑥ たくさんの足りない所を逐次に直すように。



—朱 双彤/中国/静岡西 RC

- ① 二年前の米山奨学生・世話クラブカウンセラーオリエンテーションに参加していたとき。
- ② 視野を広げる時間でした。様々な背景を持つ人に会い、コミュニケーションを通じて仲良くなり、様々なことを学んで価値観が多様化した。
- ③ 皆様に会って良かったです。色々なお世話をありがとうございました。
- ④ 様々な国の留学生やロータリアンや学友の方々と交流し、自信がつき、コミュニケーション能力が身につきました。
- ⑤ 地域のボランティア活動や、ロータリー活動のサポートや、新奨学生の相談役と、奨学生同期や先輩・後輩の奨学生・学友のネットワーク作りなどをしたいと考えています。
- ⑥ 初心を忘れずに、自分が目指している人物像になる道に進んでいるか？



—謝 斯成/中国/都留 RC

- ① 奨学生オリエンテーションの日に、世話クラブの京谷直人会長（当時）とカウンセラーの天野忠春さんと自己紹介をする時でした。
- ② 異なる空間と時間で刺激を受けながら自ら成長していく二年間でした！
- ③ いつも温かく見守ってくれてありがとうございました。
- ④ 自分を愛することや人を見る目を養うことです。
- ⑤ 『学友会会報』を編集してみたいです。
- ⑥ 好きな人といっしょに好きな仕事をしているね。



—仇 英嬌/中国/伊東西 RC

- ① 米山奨学生の集まりの際に、いつも友達から元気をもらい、非常に良い刺激を受けました。
- ② 時間は限りがあるからこそ大切です。常に積極的に交流することを意識しています。
- ③ 2年間大変お世話になりました。これからも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。
- ④ 経済的な支援と精神の豊かさです。経済的な支援より、この二年間出会った人、得た経験など精神的な財産の方がかなり大きいです。
- ⑤ 社会奉仕を続けることです。ロータリーの四つのテストに従い、一人ひとりの志の成長は社会の幸せの総量を増やします。
- ⑥ ゆっくり、いそげ (Festina lente)。高い志をもって、夢や目標を諦めずに、素敵なお人になってください。



世話クラブの日向美徳会長(左)と天野忠春カウンセラーとのトリプルショット(卒業式にて)

—ルオン ティ ゴック/ベトナム/山梨 RC

- ② 米山奨学生になったことで、私の人生が変わりました。留学性としてのいい経験があって、素晴らしい出会いは米山奨学生にならないとなかなかできないと思っています。何度も感謝いたします。
- ④ 奨学生というお金がもらえることを考える人が多いですが、実際に私が米山奨学生になってそれ以外にも得たことが山ほどあります。それは素晴らしい出会い、日本の大家族、日本の故郷、奉仕活動の精神などいい思い出ができました。このようなことは私にとって宝石のような宝物で「形のない財産」です。
- ⑤ 米山学友会員になって、ロータリー精神が続けたいと思います。ロータリアンのそばで新しい奨学生たちの面倒をみるお手伝いをしたいと思います。それから奉仕活動に積極的に参加したいと思います。
- ⑥ 米山奨学生時代に作った素晴らしい出会いに、また連絡を取り合うことができるように。



左からヒェウ、ルオン、李潤、李若源の皆さん(地区大会にて)

—王 強/中国/袋井 RC

- ② 奨学生として過ごしたこの 1 年間、さまざまな活動に参加することで、多くの分野の優秀なエリートと知り合いました。
- ③ 袋井ロータリークラブは私にとって日本の家のようなもので、日本からの思いやりと温かさを感じました。
- ④ 異なる文化をよりよく理解できるようになりました。
- ⑥ これからもっと頑張って、5 年後の自分を失望させないように頑張ります！



—リンテツ テット/ミャンマー/清水中央 RC

- ② 周りの優しさで心を温めることができた期間。
- ③ いつも家族みたいにそばにいてくれて、ありがとうございました。
- ④ 人間愛で優しくなってきた心とプレゼンテーション能力。
- ⑤ 後輩たちの話を聞いてメンタル的にサポートしてみたい。
- ⑥ 今までいろんなことを乗り越えられたので、どんなことでも頑張れる。



—ヴ ティ タオ/ベトナム/甲府南 RC

- ① ロータリークラブの活動に参加し、初めて奨学金をいただいた時。
- ② 「繋がり」です。様々な活動に参加させていただき、多種多様な方々とコミュニケーションを取り、多くの繋がりを持つことができました。
- ③ 大変お世話になりました。様々な活動や日本文化に触れる機会をいただき、貴重な経験を得ることができました。ありがとうございました。
- ④ コミュニケーション能力です。老若男女問わず、様々な国籍、年齢の方々とコミュニケーションを取り、成長することができました。
- ⑤ ロータリーの活動を引き続き参加することです。今まで奨学生として経験したことを活かして、学友会の活動に積極的に参加して行きたいと思います。
- ⑥ 5 年後は、現在勤めている会社で一担当者として会社に貢献したいです。また、私のような外国人が新入社員として入社してきたときに先輩として教育ができるよう私自身成長したいです

—ハグワスレン ミンダリ/モンゴル/甲府中央 RC

- ① 米山学友世界大会に参加した時。同じ目的を持っている皆を見て感動しました。
- ② 満足。
- ③ チーム。
新しい価値観、人間関係の大切さ、コミュニケーション力。
- ④ 交流活動、社会奉仕活動、ボランティア活動に参加すること。
- ⑤ ボランティア。



—李 若源/中国/甲府西 RC

- ② 奉仕活動などを参加し、友達と深い絆を結び、世話クラブで支えられたすごく充実の1年間でした。
- ③ この一年間、皆様の心温まるサポートに深く感謝申し上げます。ありがとうございます！甲府西最高です！
- ④ 私たちは種で、米山精神で育てられ、成長し続けます。将来の姿が未知ですが、花になったら笑顔をもたらし、木になったら涼み場と養分を提供し、どんな姿でも社会に貢献することを目指していきたいと考えています。
- ⑤ 米山奨学事業活動のサポートを通し、ロータリアン、奨学生、学友との交流を深めていきたいです。
- ⑥ 人と人の絆を大切に生きていきたいよねー、他人のために役立つ仕事をしているよねー。



—李 根/中国/浜松志耀 RC

- ① 合格通知を受け取った時でした。その瞬間、非常に興奮し、感動しました。これは人生の重要な瞬間であり、奨学生に選ばれたことに対する名誉を感じました。
- ② 挑戦と成長の旅。
- ③ 心からの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。
- ④ 新たな文化の理解と国際的な視野を広げる機会です。
- ⑤ 国際交流イベントや地域社会への奉仕活動に積極的に参加することです
- ⑥ 努力と信念を持ち続け、自分の夢を追い求めよう！



—フヤル ビジュヌ プラサド/ネパール/静岡日本平 RC

- ① 初めて米山奨学生オリエンテーションに参加した時です。
- ② 挑戦と成長の期間。
- ③ 感謝の気持ちを忘れず、これからも学生たちを支え続けてください！
- ④ 貴重な学びと国際的な交流の機会です。
- ⑤ 地域や社会への貢献活動を通じて人々に影響を与えることです。
- ⑥ 挑戦し続け、成長し続けよう！



清掃ボランティア活動に参加(左) 三保松原にて

—李 潤/中国/大月 RC

- ① 初めて例会に参加した時です！
- ② 自分がより良い人間になりました。
- ③ 原さん、色々教えてくれて、本当にありがとうございました。
- ④ ロータリーの活動やイベントなどを通じて目の前の世界が凄く広がった。



—グエン・ドアン・チュン・ヒエウ/ベトナム/甲府北 RC

- ① 去年のオリエンテーションの時に、ロータリー米山の方針を説明してくれました。そして、カウンセラーに顔合わせの時。
- ② 充実でした。経済的にはもちろん、ロータリーの奉仕活動などのおかげで多くの方々、そしていい出会いがあって、交流することができました。
- ③ 1年間は短かったですがお世話になりました。例会の時に、いつも暖かくお迎えしてくださってありがとうございました。
- ④ 国際交流。日本人や他の留学生と交流する機会が得られます。異なる文化や背景を持つ人々との交流は、相互理解を深めるだけでなく、国際的な人脈を築く機会ともなります。
- ⑤ 交流会の計画を立つと考えます。ロータリー米山は国際的な財団なので、自国の文化を他の人に知ってもらいます。そして、異文化を体験し、ダイバーシティな組織になりますように。
- ⑥ ぜひ価値がある人になってください。



—ギミレ マノズ/ネパール/甲府 RC

- ① コロナのせいで人生があまり上手くいってない時に奨学生として選ばれたことで明るい未来が見えたと考えました。
- ② めっちゃ経験になりました。また、たくさんの偉い方々と会えることで自分の考え方もいい意味で変わりました。
- ③ 世話クラブ。カウンセラーへ一言で伝えられないほど感謝の心（一期一会）です。いつもお気遣いください、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ④ たくさんあります。考え方が変わったこと、人を大切にすること、自分が成長したことや社会に出てきたら一番気楽で頑張っていることです。
- ⑤ たくさんの友達を作ったり、ロータリアンとで会える機会を作ったら、支援活動をしたりたいです。
- ⑥ やっぱりロータリアンですね



9. 2023-24 年度 期間終了の米山奨学生一覧

(奨学生番号順、2023年9月終了生含む)

氏名	国籍	世話クラブ	居住地
パタンドウング,スミルナ ウィラワンティ	インドネシア	富士 RC	静岡県
ヴ ティ タオ	ベトナム	甲府南 RC	東京都
王 非凡 (オウ ヒボン)	中国	笛吹 RC	東京都
フヤル ビシユヌ プラサド	ネパール	静岡日本平 RC	静岡県
ヴィ ティ ゴック チン	ベトナム	三島 RC	東京都
李 江華 (リ ジャンファ)	中国	駿河 RC	静岡県
朱 双彤 (シュ ソウトン)	中国	静岡西 RC	静岡県
グエン キ カオ	ベトナム	浜松中 RC	東京都
崔 準城 (チェ ジュンソン)	韓国	浜松ハーモニーRC	帰国
謝 斯成 (シャ シセイ)	中国	都留 RC	東京都
仇 英嬌 (キュウ エイキョウ))	中国	伊東西 RC	東京都
張 恒森 (チョウ コウシン)	中国	浜松南 RC	帰国
ギミレ マノズ	ネパール	甲府 RC	東京都
ハグワスレン, ノミンダリ	モンゴル	甲府中央 RC	東京都
グエン, ドアン チュン ヒエウ	ベトナム	甲府北 RC	東京都
ルオン, ゴック ティ	ベトナム	山梨 RC	東京都
李 若源 (リ ジャクゲン)	中国	甲府西 RC	山梨県
李 闊 (リ カツ)	中国	大月 RC	茨城県
リンテッ テット	ミャンマー	清水中央 RC	静岡県
グエン リン ハイ	ベトナム	藤枝 RC	兵庫県
李 根 (リ コン)	中国	浜松志耀 RC	大阪府
王 強 (ワン チャン)	中国	袋井 RC	帰国



10. 2024-25 年度 新規・継続・クラブ支援の米山奨学生一覧

(奨学生番号順)

氏名	国籍	世話クラブ
李 江華 (リ ジャンファ)	中国	駿河 RC
レ ティ チョウ クイン	ベトナム	沼津西 RC
姚 方勃 (ヤオ ファンボ)	中国	パワー浜松 RC
ソリマン ゼヤド アイマン アブダラ アブエルフエト	エジプト	静岡 RC
曾 松洋 (ソウ ショウヨウ)	中国	三島 RC
ジン ミ ミ テッ	ミャンマー	浜松 RC
カオ ティ キィ ズエン	ベトナム	甲斐 RC
田 鈺凡 (デン ギョクハン)	中国	甲府中央 RC
文 成豪 (ブン セイゴウ)	中国	甲府北 RC
周 焜蒞 (シュウ ギョウサク)	中国	笛吹 RC
キエウ トウ フオン	ベトナム	甲府東 RC
ブ ティ フェン チャン	ベトナム	山梨 RC
徐 芸昊 (ジョ イコウ)	中国	甲府 RC
徐 超 (ジョ チョウ)	中国	甲府南 RC
グエン グエン チュック	ベトナム	甲府西 RC
グエン ティ ミー リン	ベトナム	静岡北 RC
賈 永波 (カ エイハ)	中国	藤枝南 RC
ミヤ パール ソー	ミャンマー	清水中央 RC
木尼熱 艾尼 (ムニラ アイニ)	中国	静岡日本平 RC
ロイハン フェルマナ シッドイク アシア ジャバニ	インドネシア	沼津北 RC
ベウラニ ザナ	イラン	清水 RC
アーマド チャイルディンムーヤルシャー	インドネシア	袋井 RC
グエン ニヤット ヒエウ	ベトナム	浜松ハーモニーRC
王 天馳 (オウ テンチ)	中国	静岡西 RC
采 国孝 (チャイ クオシアオ)	中国	浜松西 RC
李 康玮 (リ コウイ)	中国	浜北 RC
朱 正宇 (チー ジェンユ)	マレーシア	静岡中央 RC
馮 銳 (フウ エイ)	中国	沼津 RC



11. 2024-25 年度 主な行事予定

行事内容	実施予定日	場 所
第 16 期通常総会&奨学生交流会	2024 年 7 月 14 日 (日)	米山梅吉記念館
地区米山記念奨学セミナー	7 月 28 日(日)	米山梅吉記念館
柿田川湧水地清掃	9 月 7 日(土)	柿田川湧水地公園
米山奨学生期間終了式 (9 月終了生)	9 月 14 日(土)	米山梅吉記念館
米山奨学生・カウンセラー研修会	10 月 6 日 (日)	米山梅吉記念館
学友奉仕交流イベント	10 月 13 日 (日)	三保松原 (静岡市)
(地区大会前日)学友 Exchange Meeting	11 月 9(土)	ベルクラシック甲府
地区大会本会議	11 月 10(日)	YCC 県民文化ホール
米山奨学生期間終了式	2025 年 3 月 16 日 (日)	中島屋グランドホテル(静岡市)
新米山奨学生・カウンセラー研修会	4 月 5 日 (土)	中島屋グランドホテル(静岡市)



2024-25 年度地区バッジデザイン

12. 編集後記

初夏の季節に「米山学友会会報」第 15 号をお届けします。

今号は、当学友会が今年 3 月に創立 15 周年を迎えましたので「創立 15 周年記念特集号」です。地区ガバナー中村皇績様をはじめ、松村友吉様、渡辺郁様にご多忙の中、ご寄稿を頂きまして御礼申し上げます。お陰様で充実した誌面となりました。

ベトナム支援で渡航した皆さんが寄せた活動の感想に共感し、また 3 月に期間終了した奨学生 17 名のアンケート回答にも昔の自分を思い出して感動。「米山奨学生ひろば」では、文字の大きさを何度も調整しながら写真加工アプリで 1 つ 1 つフレームをつける…大変でしたが、ハッピーな編集作業でした。

米山学友・奨学生の皆さん、引き続き力を合わせて活動を展開していきましょう。次号もご期待下さい。

上野佳子



国際ロータリー第2620地区
Shizuoka Yamanashi
米山学友会



事務局： 〒411-0941
静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1
公益財団法人 米山梅吉記念館 内

メールアドレス yoneyama2620@gmail.com

フェイスブック <http://www.facebook.com/Ry2620>

